平成 26 年 7 月 29 日

各　　位

会　社　名　スカイマーク株式会社
代表者名　代表取締役社長　西久保　慎一
（コード番号 9204 東証一部）
問合わせ先　取　締　役　有 森 正 和
（TEL：03-5708-8280）

エアバス A380 型機導入に関する本日の一部報道について

本日、一部報道機関において、当社のエアバス A380 型機導入に関する報道がありましたが、当社は４年前より A380 の導入に向けて準備をして参りました。しかしながら近年の円安や競争の激化により経営環境が厳しくなったため、平成 23 年２月 21 日に開示致しました当初の計画（A380 型機６機（うち２機はオプション）をカタログ価格約 1,150 億円（オプション２機含まず）で購入し、2014 年度以降順次導入する計画）を変更せざるを得ない状況になって参りました。

今年４月からこのような状況を踏まえてエアバス社と話し合いをして参りましたが交渉は難航しております。それはスカイマークが大手航空会社の傘下に入ることを契約変更の条件の一部として要求しているためです。そしてそれを拒否して A380 をキャンセルした場合には常識を逸脱した法外な違約金を提示してきました。

エアバス社としては、契約通りの機体数を納入し代金を回収することが第一の目的であることは理解できます。しかし当社の経営の主体性を揺るがすような要求は受け容れられるものではありません。

スカイマークは創業以来、旧態依然とした航空業界に価格競争を持ち込み、航空運賃の低価格化に貢献して参りました。それは大手航空会社に頼らず独立して存在するからこそ実現できたことであり、そこに企業としての価値があると自負しております。収益が悪化しているとは言え未だ無借金であり、また A330 のグリーンシートは非常に好評で搭乗率も上がってきております。他社の傘下に入ることなど考えられません。

A380 の導入は当社にとって重要な事案です。交渉の途中ではありますがお客様や株主の皆様に現状を知っていただく必要があると思いましたので本文面にてお知らせする次第です。経営的に難しい局面ではありますが決して安全運航をおろそかにすることはございません。まだまだ困難な交渉が続くとは思いますが、我々はエアバス社と根気よく協議し解決策を見出していく所存でございます。

以上